

臨床研究
「小細胞肺癌の診断法及び治療法の開発」
について

筑波大学附属病院呼吸器外科では、標題の臨床研究を実施しております。

本研究に関する問い合わせ、または研究への参加を希望しない場合は、担当者までご連絡をお願いいたします。

本研究の概要は以下のとおりです。

① 研究の概要

背景:小細胞肺癌(SCLC)は急速な進展能と高い転移能を有する難治性腫瘍の代表です。癌の浸潤、転移には様々な細胞接着分子が関与します。細胞接着分子は細胞膜上に発現するため、腫瘍特異的な発現が診断標的として重要であり、抗体による機能阻害が新たな治療法開発に結びつく可能性があります。我々は、細胞接着分子 CADM1 が SCLC で特異的なスプライシングを受けて、高頻度に過剰発現することを見出しました。

目的:CADM1 及びその関連分子が診断及び治療の分子標的となる可能性を検討します。

対象:1989年5月以降に当院で SCLC と診断され手術又は化学療法を施行された患者さん。

方法:①手術検体の免疫組織化学染色を行い、CADM1 及びその関連分子の発現と臨床病理学的因子との関連を検討する。②ELISA 法で血清中の可溶性 CADM1 を検出し、臨床病理学的因子との関連を検討する。

② 利用する試料・情報の項目

手術検体や気管支鏡検体及び血清(いずれも診療用に採取される検体の残余を用います。新たに採取することはありません。)情報は「年齢, 性別, BMI, 喫煙歴, 既往歴, 血液検査, 腫瘍マーカー, CT, 術前診断, 術式, 補助療法, 手術日, 生存確認日, 再発の有無, 再発部位, 無再発生存確認日, 病理診断, 病理所見, 等」を含みます。

③ 研究機関名・研究責任者

研究機関:筑波大学医学医療系 呼吸器外科
〒305-8576 茨城県つくば市天久保 2-1-1
電話 029-853-3097

研究責任者:菊池 慎二

④ 保有する個人情報の保護

本研究に関して、治療を受ける患者さんの個人情報保護は、人権は擁護されます。個人情報を開示することはありません。本研究は筑波大学附属病院臨床研究倫理審査委員会で審査され、個人情報及び人権が守られることが確認された研究です。ご協力によって得られて結果は、個人情報が保護された形で学会や学術雑誌、データベースなどで公に公表されることがあります。

⑤ **本研究に対するお問い合わせ・苦情等の連絡先**

本研究について何かお知りになりたいことや疑問な点がありましたら、担当医師に遠慮なくおたずねください。

本試験の責任医師: 菊池 慎二(呼吸器外科診療グループ・講師)

連絡先: 筑波大学附属病院

住所: 〒305-8576 茨城県つくば市天久保 2-1-1

電話: 029-853-3097(医局、平日9:00-17:00)

029-853-3110(上記以外の時間帯)

※担当医師または呼吸器外科の医師を呼び出してください。